

即実践！介護現場DXセミナー&展示会 出展募集要項

1 目的

要介護者の増加やニーズがより多様化していく中で、限られた人材で一人でも多くの利用者に質の高いケアを届けることが必要となっています。介護事業所が生産性向上の取組みを行い、効率的かつ質の高いケアを提供するためにはテクノロジーの活用が不可欠です。

しかし、生産性向上の取組みの必要性は感じていても、その手法がわからない、時間がないといった課題があります。

当展示会は、展示会前に開催するDXセミナーとあわせて、介護事業所の職員が介護テクノロジーを用いて業務改善・生産性向上に取り組むきっかけを得ることを目的に開催します。

2 開催日時

令和7年11月7日（金） 午後3時から午後4時30分

3 会場

松本市勤労者福祉センター（長野県松本市中央4丁目7番26号）
3-1会議室及び3-2会議室

4 対象となる機器・ソフトウェア及び募集数

(1) 対象

経済産業省と厚生労働省が策定した「介護テクノロジー利用の重点分野」の9分野16項目に該当する介護テクノロジー等又は介護における請求業務、記録業務、情報共有業務を行うことができるソフトウェア等のICTとする。

(2) 募集数

最大15種類程度

※ 複数機器の出展を希望する場合は、機器・ソフトウェア毎に応募すること。

5 展示スペース

(1) 展示スペースの大きさは、横2m、奥行2mほどとします。

※ 出展スペース等は目安。出展数等によって、スペースや設備が増減することがあります。また、応募する機器は<参考2>の搬入出エレベーター内に収まるサイズであること。

(2) 基本設備として、机1卓、椅子4脚を用意する予定です。

6 申込み

(1) 申込み方法

下記の指定の応募フォームに必要事項を記載の上、送信してください。

<https://logoform.jp/form/N7tm/1238823>



(2) 申込み期限

10月24日（金）まで

※ただし、応募状況により公募期間を予告なく変更することがあります。

7 選定方法

募集数以上の応募があった場合は、出展企業の選定を行います。選定は出展分野のバランス、出展実績、導入実績、参加予定者の希望調査等を考慮して行います。選定結果は申込み時に記載いただくメールアドレス宛に10月29日（水）までにご連絡します。

8 搬入出

(1) 準備

ア 搬入及び設営は午後1時から3時までの間に行ってください。

イ 会場及び本市では事前配送物の受取り、預かりは致しません。

(2) 片付け

展示会終了後（午後4時30分から）、片付けを開始してください。

(3) 留意点

ア 会場は3階です。階段及びエレベーターがありますが、機器によっては物理的に持ち込むことができない場合がありますのでご注意ください。

イ 駐車場の数に限りがあるため、近隣の有料駐車場の利用または公共交通機関の利用にご協力をお願いします。

9 出展費用

(1) 本出展における出展費用は無料とします。

(2) 出展に関わる什器、人件費、交通費、駐車場使用料等は出展企業の負担とします。

その他留意事項

- (1) 当日は同会場同フロア内の別会議室にて、DXをテーマとしたセミナーを開催します。本展示会は、セミナー後の第2部として行うものになります。（企画の全体構成及び第1部セミナーの概要については添付のチラシをご参照ください）
- (2) ネット環境については、Wi-Fi環境を準備いたしますが、不安定な場合がありますので、必要に応じてモバイル型Wi-Fi等を各自ご用意ください。
- (3) 出展製品等の保安全管理は、各ブースにて責任をもって対応願います。
- (4) 出展物の盗難、損傷、紛失、災害等による損害に対する補償などの責任は、一切責任を負いかねますので、出展物は出展法人の責任において管理願います。
- (5) 出展者の責に帰する事由により、搬入の際に、施設内の設備等に損害を与えた場合、出展者に原状回復に要する費用を負担いただきます。また、出展者が展示スペースを使用することによって生じた人及び出展製品に対する傷害・損害に対し、本市は一切の責任を生じません。
- (6) 施設内における販売及び契約行為は控えていただくようお願いいたします。
- (7) 会場内に控室はございません。
- (8) 旅費、謝金はございません。

10 問合せ

松本市 健康福祉部 高齢福祉課 介護給付担当 担当：嶋口
〒390-8620 長野県松本市丸の内3番7号
電話：0263-34-3213（直通）
電子メール：kaigo@city.matsumoto.lg.jp

<参考1>

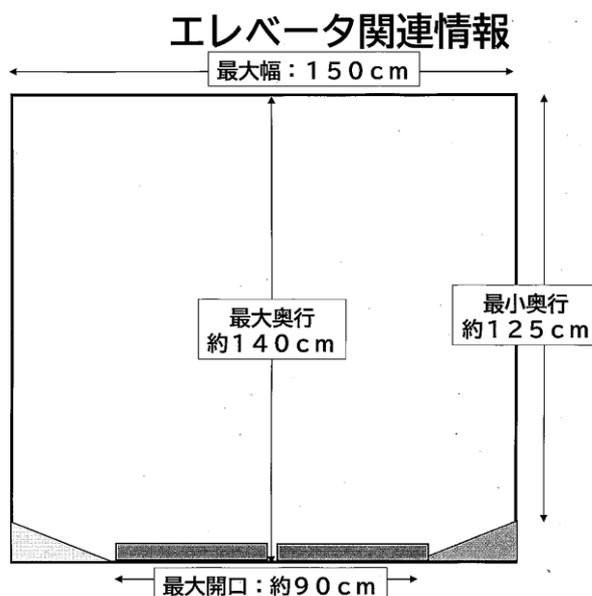
(参考) 介護テクノロジー利用の重点分野の全体図と普及率



※赤破線で囲っている、排泄支援（排泄予測・検知）、見守り（施設）、見守り（在宅）、コミュニケーション、介護業務支援、機能訓練支援、食事・栄養管理支援、認知症生活支援・認知症ケア支援の項目においては他の機器・システムとの連携を定義文において明記
 ※項目別の普及率は、『令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査結果』を引用
 ※緑枠線の、新たに追加される機能訓練支援、食事・栄養管理支援、認知症生活支援・認知症ケア支援の3項目に関しては、上記調査を実施していないため、普及率は未記載

(出展) 厚生労働省ホームページ「介護テクノロジー利用の重点分野」について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000209634_00013.html

<参考2>



即実践！ 介護現場DXセミナー&展示会

これから始めたい！もっと活用したい！
明日から使える改善ポイントを持ち帰ろう

このような方は、ぜひご参加ください！

- ✓ まずは何から手をつければ良いか知りたい
- ✓ 高価な機器ではなく、今あるもので業務改善をしたい
- ✓ 生産性向上のための具体的なヒントがほしい



日時	令和7年11月7日（金） 第1部 13:30~15:00/第2部 15:00~16:30		
会場	勤労者福祉センター 第1部 3-3会議室/第2部 3-1、3-2会議室 ※駐車場の数に限りがありますので、公共交通機関や近隣の有料駐車場の利用のご協力をお願いします。		
対象者	介護保険関係事業所	定員	会場 100名 オンライン 100名（第1部）

講師：社会福祉法人 善光会 サンタフェ総合研究室 株式会社善光総合研究所
介護ビジネスサポート部

いまむら たかし

今村 貴志 氏

元 大手ICTベンダー DXコンサルタント。大手ICTベンダーにて、企業のDX支援に従事した後、介護業界へ。善光会のノウハウをベースに、コンサルタントとして介護事業所のDX支援や自治体支援に取り組む。令和6年度DXを伴走支援してきた事業所は15事業所以上。専門用語を使わず、現場の目線に立った実践的なアドバイスに定評がある。

いけがや たかひろ

池谷 隆弘 氏

大手広告代理店にて、BtoB領域のプロモーション支援で培った課題解決力を武器に、株式会社善光総合研究所へ。介護業界のDXを推進するべく、自社開発システム「SCOP」の提案・導入支援から、中央官庁の関連事業まで幅広く担当。広告代理店時代からの強みであるコンサルティングを軸に、テクノロジーと現場の橋渡し役を担っている。

内容
・第1部
セミナー

スケジュール：

- オリエンテーション「なぜ今、DXが求められるのか？ 私たちの現在地の確認」
- 講義「思考法を変えれば、現場は変わる」 「時間がない」を解消する業務改善の考え方と具体事例
- 実演・事例紹介「明日から使える！無料ツール活用術」
（実演：生成AIによる会議議事録の自動作成事例、記録・申し送り時間を半減させた事業所の取り組み紹介）
- まとめ・質疑応答

内容
・第2部
展示会

（開催に向け調整中）

※セミナー後は、ぜひ展示会へ！セミナーでご紹介したツールや最新の介護ロボットをご体験いただける予定です。出展希望製品等ありましたら以下「申込み」からお知らせください。

申込み

参加及び展示希望製品調査は
こちらから

<https://logoform.jp/form/N7t/m/1238656>



問合せ

松本市 健康福祉部
高齢福祉課 介護給付担当
担当：嶋口
0263-34-3213

（注）内容については現時点（R7.9）の予定であり、変更の場合がありますのでご了承ください。